

全校集会 学校長の話（2025年4月22日）

- おはようございます。新学期が始まって2週間が経ちました。クラス替えでまだ緊張している人もいるでしょうが、まずは隣の人に「おはよう」と声をかけてみてください。その一言が、教室をぐっと居心地よくします。
- 大阪・関西万博が開幕して1週間が経ちました。北稜中学校でも校外学習で行きますが、皆さん楽しみにしていますか。僕は、「わくわく」と、「みんなケガなく無事に帰ってこられますように」という気持ちが半分半分です。ところで、皆さんは今回の万博のテーマを知っていますか？ 今回のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。きょうは、このテーマについて考えてみたいと思います。
- 前回の大阪万博は、1970年開催で、私は1970年生まれなので、ぎりぎりいけませんでした。まあ、行けたとしても赤ちゃんだったので記憶は多分ないと思います。55年前当時の万博のテーマは、「人類の進歩と調和」でした。この半世紀で科学技術は驚くほど進歩しました。スマホで世界中とつながり、AIが文章を書き、宇宙旅行の話まで出てきます。でも、世界が本当に調和しているかという、戦争や紛争、環境問題を前に、まだまだ道半ばだと感じます。
- そこで大事になるのがSDGs、持続可能な開発目標です。3年生の作ったポスターが正門横に貼ってありますから、1・2年生の皆さんはぜひじっくり見てください。さてそのSDGsですが、「貧困をなくす、飢餓をゼロに、すべての人に健康と福祉を」など、17項目あります。そのどれも、聞くと壮大で難しく思えるでしょう。でも実は、最初の一步は簡単です。それは「身近な人を大事にすること」。掃除の際、机を運んでいる人に「手伝おうか？」と声をかける。困っている友だちに「大丈夫？」と聞く。そんな小さな行動が積み重なって、世界全体を動かす力になります。
- 「命を輝かせる」のは、自分の命だけではありません。隣にいる友だちの命、まだ会ったことのない遠い国の人の命、地球上のすべての命を輝かせること——それが今回の万博のテーマとSDGsがめざす未来です。
- 今週も、自分のペースで構いません。前後左右の仲間を意識しながら、一歩ずつ優しさを行動に変えてみてください。君たちの小さな一歩が、「進歩」と「調和」を両立させる未来社会をデザインしていきます。それでは、今日も一日、よろしく願います。